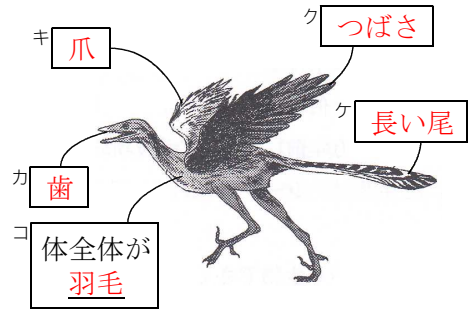


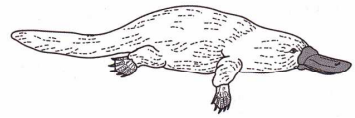
ア シソチョウ

ドイツの中生代の地層から見つかった初期の鳥類で、恐竜に近い特徴をもつ。口には歯があり、尾が長く、前足(つばさ)には、つめのついた指がある。



サ カモノハシ

ほ乳類。骨格はは虫類に近く、卵生であるが、からだは毛におおわれている。雌の皮ふには、乳のしみ出る場所があり、卵からかえった子はそれをなめて育つ。体温を保つしくみは一般的なほ乳類ほど発達していない。

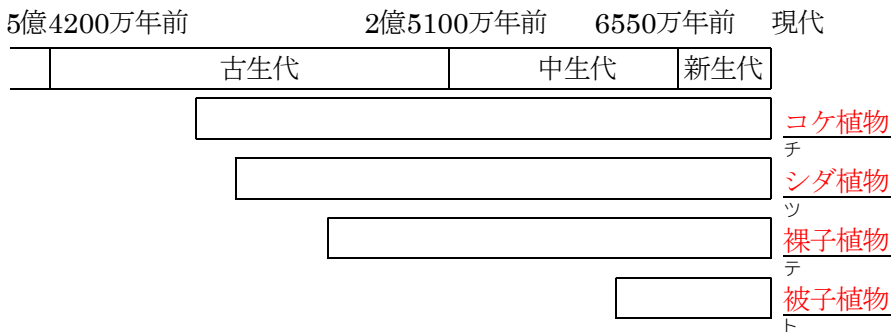


ソ オーストラリアハイギョ

オーストラリアの川にすむ魚類。約4億年前から姿がほとんど変わらず、生きている化石とよばれている。魚類から両生類が進化するころの特徴を残している。



植物の進化



コケ植物やシダ植物が現れ、シダ植物のように維管束をもつ植物は維管束で地中から水を吸い上げることができ、コケ植物よりも乾燥に耐えられる。その後、シダ植物から裸子植物、裸子植物から被子植物へと進化した。